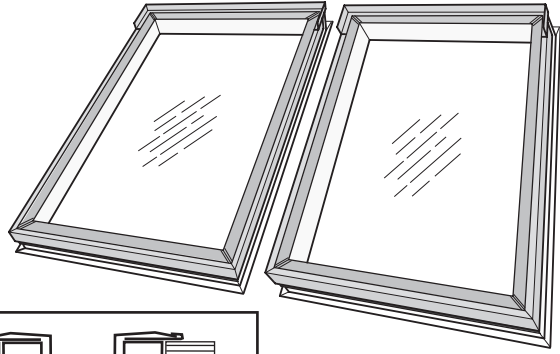


A21 VS/FSタイプ スレート屋根連窓用施工説明書

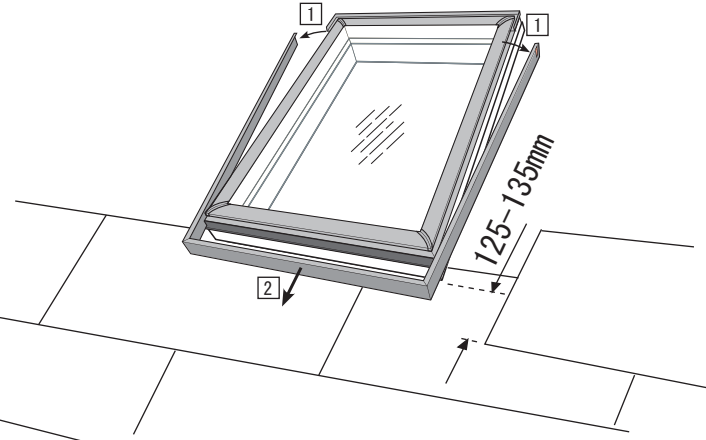
① 窓と窓の間隔

100mm



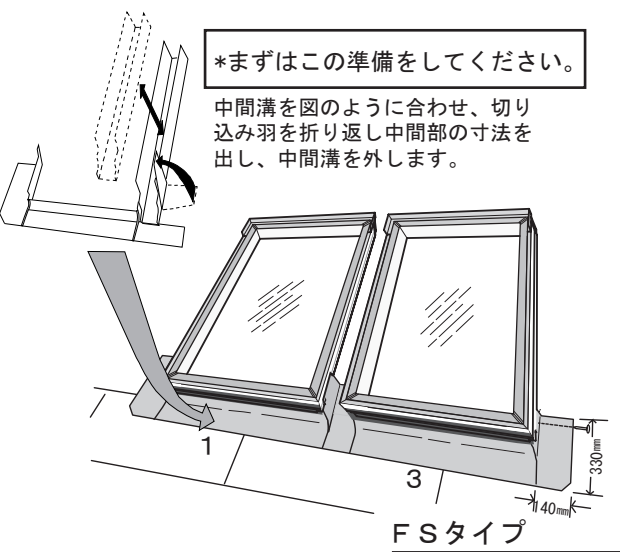
窓と窓の間隔を100mm正確に離し、野地板に取付けます。間隔が正確でないで連窓用水切りが納まらない事があります。
* 本体の取付け及びルーフィングシートの施工は、本体に同梱されている施工説明書を参照下さい。

② スレート施工及び外装板の取り外し



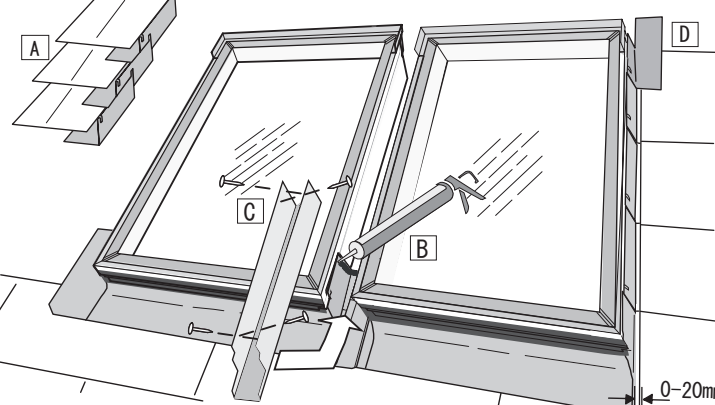
窓枠下部とサイドにくる屋根材の下端の間隔を125-135mmとって下さい。このようにしますと、下部水切りと屋根材の葺き足がそろいきれいに納まります。
次に、窓本体のアルミ外装板を外します。3方一体型になっていますので、分解しないで保管して下さい。

③ 下部水切りの取付け



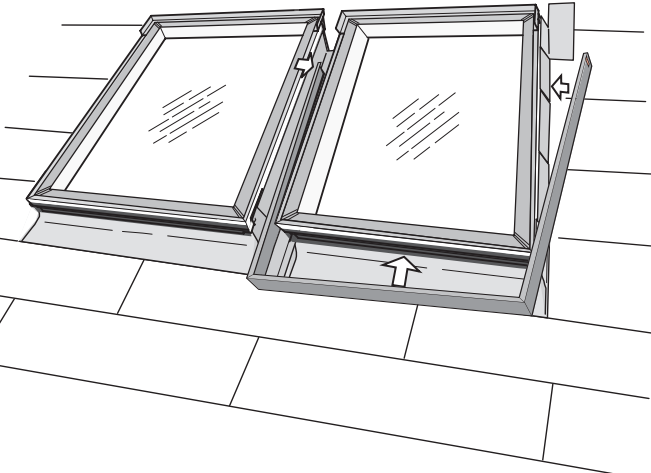
左側の下部水切り(1)から本体にはめ込んで釘で固定します。FSタイプは下部ゴムガasketをめくり上げて(2)窓枠にはめ込んで下さい。次に、右側の水切り(3)を本体にはめ込み、釘で固定します。

④ 側部及び中間溝水切りの取付け



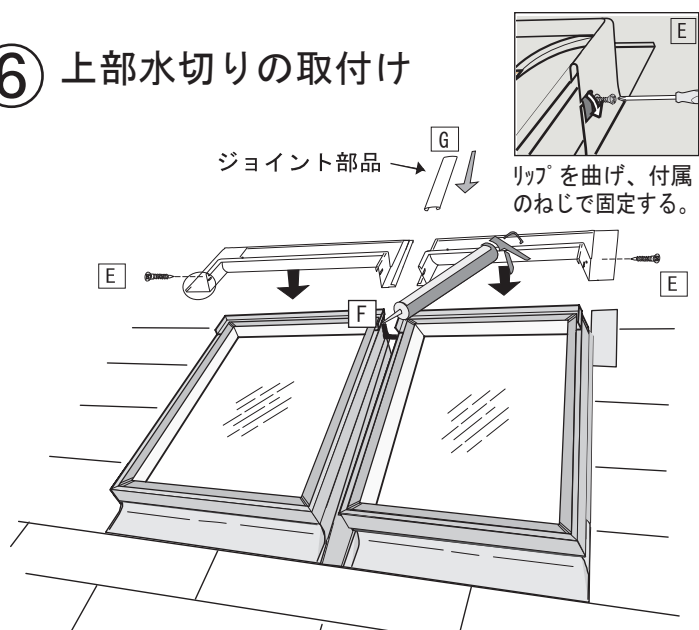
水切り側部L型板は、必ず短い方を上にして屋根材の下に敷き、図に示す様にL型板と屋根材がサンドイッチ状に交互に重なるよう下部より順に葺き重ねて下さい。その際上下のL型板の重なりを100mm以上とってリップを曲げて固定して下さい(A)。中間溝を入れる前に、図のようにかぶさり部にシールをして(B)、中間溝は下部水切りの下端に合わせ、上下端から100mmの所に釘打ちして、本体に固定して下さい(C)。上部ではL型板の寸法が余りますので右図のように切り込みを入れて外側に折り返して下さい(D)。

⑤ 外装板の取付け



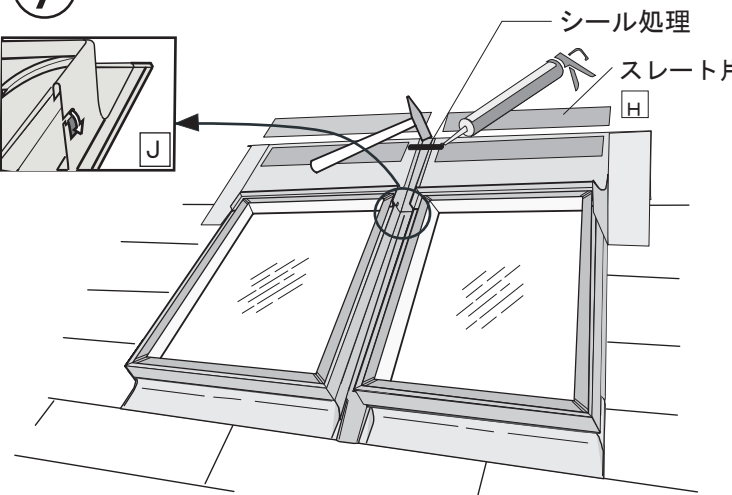
L型板の取付けが完了したら、手順②で外した外装板を元の位置に取付けて下さい。下からしっかり差し込むように取付けて下さい。

⑥ 上部水切りの取付け



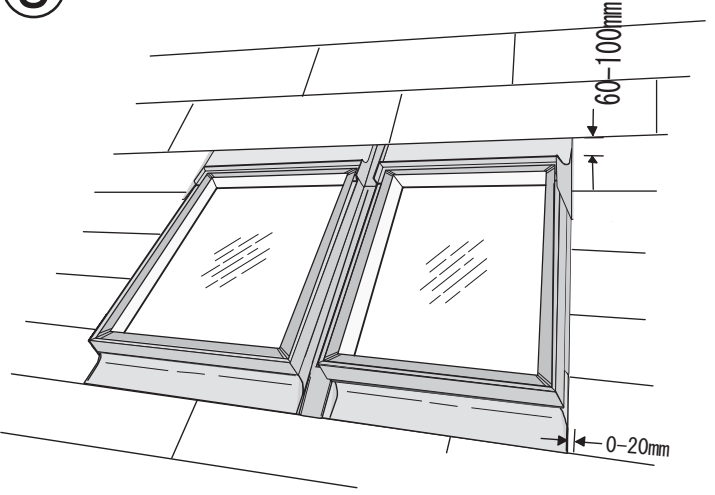
中間溝の上端にシールを打ち(F)、上部水切りを、上部外装板の縁(へり)を被いかぶせるようにはめ込みます。アルミ外装板のリップを切り込みから差し出しリップを曲げて、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい(E)。次にジョイント部品で左右の水切りを接続します(G)。

⑦ 上部水切り部の処理



上部水切りの上にかぶさるスレートのバランスを保つために、スレート片等で調整して下さい。また、ジョイント部の水上側をハンマーでつぶして、図のようにシールをして下さい。中間部はビス留めできませんので、図Jのように、リップを上部水切りの切り込みから出して折り曲げ、外装板が下がらないようにして下さい。

⑧ 上部スレート施工・仕上げ



上部水切りと天辺にくるスレートのすき間を60~100mm離して葺き上げます。

3連窓の場合も、ジョイント部材で連結して施工して下さい。